



大阪YWCA

4
2023

<http://osaka.ywca.or.jp>

YWCA (Young Women's Christian Association)は、キリスト教を基盤に、世界中の女性が言語や文化の壁を越えて力を合わせ、女性の社会参画を進め、人権や健康や環境が守られる平和な世界を実現する国際NGOです。

海は全てのいのちの共有財産

～ストップ!汚染水の海洋放出



片岡 輝美

年明け早々、岸田首相は今年の夏頃に東京電力福島第一原発敷地内に保管されている「ALPS処理水」の海洋放出を始める」と発表。そして懸念される風評被害の対策として、国は莫大な税金をメディアに投入し、東京駅構内のパネルや大手新聞の全面広告などで食の安全をアピールしています。また教育現場も利用されています。復興庁は全国の高校8校で出前講座を行い、学生らは「ALPS処理水の海洋放出に理解が深まった」と感想を述べています。経産省による出前食育等事業は、福島県内の小中学校給食の食材に、福島県や近県沖で採れた海産物を提供すること。楽しそうに食べる子どもらを「広告塔」にしてアピールするのが狙いです。

しかし反対の声も高まっています。昨年8月、太平洋諸島フオーラム(オーストラリアなど15カ国2地域)から依頼された海外の科学者5名は、東電から提供された4年間分の汚染水データを分析した結果、「タンク内に正確にどのような汚染水が入っているのか分からないのが問題だ。東電の汚染水抽出デー

タは不完全で不正確で一貫性がない」と結論づけ、海洋放出以外の対策を検討すべきだと強調しています。

これは上海を汚すな!市民会議は、昨年10月から「汚染水の海洋放出に反対するハガキ作戦」を始めました。宛先は内堀福島県知事、伊沢双葉町長、吉田大熊町長です。夫婦用に2部、仲間内で10部、集会用に100部欲しいなどハガキ送付の依頼が途切れることはありません。最近、県議会議員の協力で1月末までに県庁に1400通、双葉町役場に1500通が届いていることが分かりました。

先日、小学生たちが「ハガキ、書いたよ!」と見せてくれました。カラフルなお魚や蟹、ヒトデが描かれたハガキには「おいしい、あんなにお魚が食べた〜い」、「きれいな海の中でお魚たちが元気にすごせるように、汚染水を流さないでください!世界中の海と共に生きる人々や未来の人々に大きな影響を与えます。なので、汚染水を流さないでください」とのメッセージが綴られています。海は全てのいのちの共有財産。あなたもご自分の思いを、内堀県知

事らに届けてみませんか。お問合せ... koreumikaigi@gmail.com (片岡)

かたおか てるみ
1961年福島県生まれ、会津若松市在住。日本基督教団若松栄町教会信徒。2005年九条の会・西栄町学習会を結成。約10年間「自分のことばで平和を語る」をモットーに月例学習会やピースウォークや講演会などを企画。2011年3月15日から2週間、被ばくを避けるために末息子、妹親子と三重県へ避難。帰還後、同年7月会津放射能情報センターを設立し代表となる。2014年8月より子どもも脱被ばく裁判の会共同代表。これ以上海を汚すな!市民会議メンバー、宗教者が核燃料サイクル事業廃止を求める裁判原告





イースターメッセージ

イエスは言われた。「わたしは、よみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は、死んでも生きるのです」(ヨハネによる福音書11章25節)

永富 美加

(日本キリスト教団 いずみ教会)



深い悲しみ、
嘆きの後に……

大切な人を失いました。いつかは、別れの時がやって来る……、そう遠くはないうちにと覚悟していたものの、その人の死は突然にやってきました。誰もそこに関与することを許さない死の厳粛さがありました。悲しみが覆い胸を刺し貫いています……。

主イエスは、人間の死をどうみておられたのでしょうか。ヨハネによる福音書11章35節では「イエスは涙を流された」とあります。続く33節、38

節では、2回にわたって「憤り」と記されています。人間の最大の悲しみである死に対して、主イエスも、大切な人支えであった人を失い、泣いている者たちとともにいてくださり、激しく心を動かし、涙を流されました。

すべての死は、死で終わってしまうのでしょうか……。死が死に呑み込まれ、ここで幕が降ろされてしまうなら人間は、惨憺たるありさまではないでしょうか。

人を絶望に陥らせ、暗闇のただ中へと突き落とす死そのものを、主イエスも経験なさった。主イエスは、十字架



にかかり死なれました。そして、その三日後に甦られました！

11章25節「わたしは復活であり、命である。」

ここに、主イエスは、死を突き破られました！死が死で終わるのではない。死を突き抜けて甦った主イエスが、あなたがたとともにいると、聖書は語るのです。

パウロも、1コリント15…54において「死は勝利にのみ込まれた」と告げています。

ここに、主イエスから与えられる大きな力と希望があるのではないのでしょうか。この力と希望を信じる時、たとえ今は、大切な人を失った喪失感の中で、泣き崩れながらも、次の新たな一歩を踏みだすた

めの支え、慰めが与えられているのではないのでしょうか。時間はかかるうとも、主イエスが失意、深い悲しみにある一人ひとりに目を注がれ、その人にふさわしい時に、ゆっくりと立ち上がらせ、起き上げらせてくださるのではないのでしょうか。

今も、この世界の惨憺たる現実のなかにおいて、辛さの中に身をおき、泣き崩れている人がいます。また大切な人を失い絶望の中にある人がいます。そのような一人ひとりの厳しい現実のただ中に、主イエスが立っておられて、「わたしは復活であり、命である」と、語りかけてくださっています。主イエスは、それぞれを立ち上がらせるため、今も、奮闘なさっておられます！



梅田で。千里で。

Yの会員になり50年。好奇心の強い私は、色々なグループ、他団体との活動で、話し尽くせない様々な経験をしました。その中で私には「芯」となるものがないと自覚。両親の介護やYの活動の中で疑問が積もっていた「福祉」を学ぼうと決心、久々の受験勉強に苦しみ何とか資格を得ました。

そして2000年。思いがけず新設「シャロン千里」で勤務することに。5年間で利用者、事業者、行政の間で辛いことも数々でしたが、やつと「芯」を得ました。一方で千里の活動を間近に見て、梅田では困難な地域活動を学び、大震災後の仮設住宅訪問と共に、今も続ける自分の地域活動の原点です。もう活動への参加も僅かですが、毎回礼拝で始まる「みのり会」を楽しみ、これまでの活動が「ラベンダー」等現在の活動につながっていることを喜んでいきます。

数々の出会いをもらったYと、活動優先の私を支えてくれた家族に感謝しております。

(会員 秋山 佳子)

2023.2.18(土) 13:30~16:30

「困難な問題を抱える女性の支援に関する法律」成立

改めて考える～“女性支援”とは何か シンポジウム 報告



2022年の世界での日本のジェンダー格差指数は、146カ国中116位(世界経済フォーラム発表による)、前回調査では156カ国中120位と横ばい。女性の経済参画と政治参画が低く、とりわけ政治分野への参画が非常に低いために表れた順位である。

2022年5月19日に、「困難な問題を抱える女性の支援に関する法律」(略称・女性支援法)成立。長く続く女性蔑視から女性福祉へと世の中が変わって行く事を期待し、現状はどうなのか、具体的にはどのように変わっていくのか、また、これまで以上に重要となる事が想定される相談業務、窓口・女性相談支援員に求められる役割について、3名のシンポジスト(堀千鶴子さん(城西国際大学教授)、遠藤 智子さん(社会的包摂サポートセンター事

務局長)、増井 香名子さん(日本福祉大学准教授)が、雪田 樹里さん(弁護士、特活)いくの学園理事長)の司会により、考察を進められた。

堀さんは、厚生労働省有識者会議に加わっておられるが、「女性支援法とは何か」をひとりの法学者としての立場から、遠藤さんは「DV被害者支援から見える地域における女性支援体制づくり」を、よりそいホットラインを運営するサポートに携わる立場から、増井さんは「基礎自治体における相談支援の意義―当事者・支援調査から」を、研究者の立場からお話くださった。

オンライン併用のハイブリット開催。対面、オンライン併せて89名が参加、関心の高さが現れたシンポジウムになった。

2024年4月の女性支援法施行時の予算化を求めて、次年度予算が策定される今夏までに、各自治体へ請願書を出し予算化を促す働きをすることが肝要であるとのこと、全国にある女性支援団体の頑張りは続く。

(会員 津戸真由)



公文和子さんを囲む会 グッド・モーニング・トゥ・ユー 「ケニアで障がいのある子どもたちと生きる」

「この子の笑顔を見てください。本当に素晴らしいでしょう。」

公文さんが目指すのは障がいという「違い」があることが公平なだけではなく美しいと感じられる社会、子どもたちの笑顔を喜び見守ることが出来る社会。

公文和子さんは何度も子どもたちの笑顔の写真を映し、ご自身も満面の笑みで(マスクでもわかるほどの)語った。公文和子さんはケニアに暮らす障がいのある子どもたちやその家族に専門的な医療や福祉、教育を提供する「シロアムの園」を立ち上げ、またそれらに携わる人々の育成や地域づくりを展開している。公文さんは笑顔をキーワードに話を進める。そして子どもたちの笑顔の向こう側にある大人の困難も。障がい児を持つ母親の多くは子どもを殺すように圧力をかけられ、夫、家族、地域から拒否され孤独を感じている。

公文さんが目指すのは障がいという「違い」があることが公平なだけではなく美しいと感じられる社会、子どもたちの笑顔を喜び見守ることが出来る社会。冒頭で公文さんはこう語った。「アフリカだから、戦争中だから子どもたちが死んでいくのはしょうがない」と決めつけ「アフリカで大変ねえ」と傍観者になるのは簡単だ。日本にも世界にも大変な状況はたくさんあり、全てにアンテナをはり支援者になることはできないが、全てのことに傍観者になるのは違う。私たちは公文さんにシロアムの園に出会い、行動し支援する側が変わっていくきっかけをもらう一夜となった。

(会員 小澤 裕子)

わたしのイチオシ! 洗剤不要の布巾 末吉さんの "びわこ"



30数年前、洗剤不要の"びわこ"と言う布巾を友人から貰い、早速YWCAでも仕入れて長年販売した。台所用、入浴タオルと裁断して作って売ったりもした。その後、会員の末吉さんがそれに代わる綿糸で編んで下さるのを我々は"びわこ"と称して愛用している。少し草臥れたのは洗面台、カラン磨きと第二の職場で活躍してる。

(会員 村松通子)

聖書の言葉

イエスはお答えになった。「わたしは真理について証しをするために生まれ、そのためにこの世にきた。」

(ヨハネによる福音書18章37節)

未来へ——安心を創る

FUJHI 藤木工務店

大阪本店 〒541-0051 大阪市中央区備後町1-7-10
ニッセイ備後町ビル1階
TEL06-4964-8700

キリスト教葬儀に関する全てを承っております

キリスト教葬儀専門
株式会社 **イースター式典社**

☎0120-415-087 (24時間) ✉info@easter-net.co.jp

営業エリア:近畿2府4県・福井・三重・鳥取・岡山・徳島・香川
兵庫県尼崎市杭瀬本町1-2-5 グラシアスコート3F TEL 06-6415-6861 FAX 06-6415-6862
http://www.easter-net.co.jp

日本語教師汗まみれ

50年以上の歴史をもつ大阪YWCA専門学校の日本語教師養成講座は2024年3月末で幕を閉じます。教師となった修了生の今を追いかけてみます。



筆者右から2番目

講座の座学では、日本語の奥深さ・面白さに魅了され、実習では、留学生を前に緊張でペンを持つ手が震えました…。今も鮮明に覚えています。講座修了後、母校で教鞭をとる事になり、授業準備に追われる毎日ですが、行き詰ると、実習のノートを見返し、初心に帰って再考するようにしています。教室の学習者から学ばせてもらう事も多く、先輩の先生方にも助けていただきながら、学習者と共に成長していけるように頑張っています。

(坂田 由美子)

第106回定期会員集会&会員親睦会



標語

平和、平和、遠くにいる者にも近くにいる者にも
(イザヤ書57章19節より)

3月4日(土)大阪YWCA本館にて、第106回定期会員集会を開催した。出席46名、委任状提出121名、計167名。

藤谷佐斗子日本YWCA会長から届いたメッセージでは、内外の平和が脅かされている現状に、今こそ連帯の力を呼びかけられた。続いて大阪城北教会東島美穂牧師からの開会礼拝がなされた。

議事にうつり、21年度決算報告、22年度事業報告、22年度会計現況報告を受け、23年度の予算案と事業計画を承認。事業部門では、ようやく留学生が戻りつつある日本語学科が会員の様々な支援を受



会員親睦会の様子

け、幅広い支援プログラムを展開している中国帰国者支援事業も帰国者が参加できるようになった様子が報告された。ボランティア社会貢献活動部門では23年度に、L A (日本YWCAの地域Yを主体としたプログラム助成)を活用し、沖繩Yと協働で「沖繩と大阪を結んで女性の人權とジェンダーを考える」を2年計画で実施。また加盟YWCA中央委員会が5月27日大阪YWCAを会場で行われる。

(文責編集部)

ご協力ありがとうございました

[22/11/1~23/2/28] 敬称略順不同

■賛助費

江尻美穂子 大川 哲次 小林千重子
笹部 真樹 辻 朋宏 中山ゆかり
原口早和子 堀西 敏子 宗像千代子
吉田 耕平

■寄付

日本語本料

杉本かつ子 徳広 彩 中山 羊奈

■講座部

徳広 彩 広瀬 圭子 横内いづみ
匿名1名

■梅田

株式会社プランニングキュービック

■千里

横内いづみ

■点字

学校法人伊丹教会学園 二葉幼稚園
金蘭千里中高ボランティア部
豊中ロータリークラブ

■その他

日本基督教団豊中教会
日本基督教団南住吉教会
日本基督教団都島教会
日本基督教団都島教会

家本 陽一 片山 隼亮 鹿野 憲一

一般財団法人中山文庫会館 クリスマス献金

有田 悦子 池田 洋子 石井由佳子
上野 康子 金澤 定節 川崎 仁子
川崎 明恵 川畑 幸子 北島 正子
熊田多美子 西条 哲 笹部 昌子
鹿野 幸枝 白川 啓子 鈴木 豊子
高橋 和子 高野美美子 瀧本 政子
田中 義信 都木 恵子 中山 光世
波留 果歩 錦織 一郎 二谷世津子
原口早和子 藤井 保男 藤岡美智子
藤田 恭子 藤本智恵子 古河 順子
帆足 文子 前川 契子 松下 起子
松田 慶子 宮崎 祐 宮澤 玲子
宗像千代子 森垣友二郎 森垣 房子
森下の子 匿名 6名

■会員維持費

井上由貴子 口羽 恵子 鹿野 幸枝
白井 邦子 末吉佳世子 田中 慶子
中島理依子 中村 友美 藤林 昭子
古河 順子 匿名1名

■募金

33口 768、498円

1月運営委員会報告

【報告】▼梅田会員部 12/14水餃子作り 1/18ベジス1プの会

▼千里委員会 12月毛糸の帽子を金ヶ崎へ

【協議】①日本Yオンライン研修振り返り ②L A第3期沖繩と大阪を結んで女性の人權とジェンダーを考える

③2023年度の委員会構成について

2月運営委員会報告

【報告】▼女性エンパワメント 1/23関学Y研修セーフスペース学習会、2/25インターシップ公開プログラム、修了式▼東日本大震災被災者支援 大阪YWCA3・11わいわいサポート奨学金を次年度より支給 ▼国際女性年大阪連絡会 3・11国際女性デー集会云【協議】①公文和子さんを囲む会について ②次年度の行事について

訃報

会員 植本 紀子さん 1月13日逝去(90歳)
会員 高野美美子さん 2月18日逝去(88歳)

2023年度 運営委員役員決定

会長 津戸 真弓
副会長 大畑 知子
書記 辻川さとみ
会計 森本 昌江 平井佐津紀

4月から開講!
韓国語、ベトナム語クラス
受講生募集中